

平成30年度 北生涯学習センター

前期講座のご案内

申込締切 平成30年4月25日(水) 必着		
曜日	時間帯	講座名
火	午後	見て見ぬふりをしていませんか?～それは「他人事?」「自分事?」～
水	午前	【託児付】〈親学関連講座〉思春期のわが子とともに～親子で成長パワーアップ!～
木	午後	〈なごや学〉北区の魅力を探り隊～水と緑の残るまち 北区～
木	夜間	【愛知学院大学連携講座】くらしの法律・基礎知識 シリーズ3
金	午前	歩くことで元気な私に～健脚で健康になりましょう～
申込締切 平成30年6月27日(水) 必着		
木	午前	音楽で世界を感じまSHOW!～奏でる調べで国際理解～
土	午前	【北区社会福祉協議会共催】災害への備えと被災後の支援の大切さ～きた災害ボランティアとして活躍しましょう!～

各講座ごとの申込み締切日までにお申し込みください。

◆受講資格

市内にお住まいの方・お勤めの方、または市内の学校に通学している方で各講座ごとに定める対象者。対象の「一般」とは、15歳以上(中学生を除く)の方です。

◆申込み方法

講座ごとに、①往復はがきまたは②電子申請サービスによりお申し込みください。

①往復はがきによる申込み

- 1講座ごとに往復はがき1通でお申し込みください。
- 1講座につき1人1通のみ有効です。
- 右記の内容をご記入の上、北生涯学習センターへ郵送してください。
- 申込み締切日**必着**です。申込み締切日は、中面最上欄をご覧ください。
- ※②「〈親学関連講座〉思春期のわが子とともに～親子で成長パワーアップ!～」にご応募される方で、託児をご希望の方は、お子さんの氏名、ふりがな、性別、生年月日もご記入ください。
- ※親子で参加する講座・事業にご応募される方は、お子さんの氏名、ふりがな、性別、学年もご記入ください。いずれも親1人・子ども1人での申し込みとなります。
- ※小中学生が対象の事業にご応募される方は、学年もご記入ください。
- ※名古屋市外にお住まいの方は、勤務先・通学先の所在地の区名をご記入ください。

返信(表面)	返信(裏面)	返信(表面)	返信(裏面)
62 〒462-0001 名古屋市中区 北生涯学習センター	希望講座名 ・ふりがな ・氏名 ・住所 ・連絡先 (電話番号等) ・下記をご注意ください。	62 〒462-0001 名古屋市中区 北生涯学習センター	※何も書かないでください

②電子申請サービスによる申込み

- ※3月26日(月)終日は、名古屋電子申請サービスがご利用いただけません。
- ※電子申請サービスホームページをご覧ください。
(パソコン) <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>
(携帯電話) <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>
- 応募者が定員を超えた場合は、申込み締切日の翌日に抽選を行います。結果については返信用はがきまたは電子メールでお知らせします。
- 定員に満たない講座は、締切日以降も先着順に追加受付します。電話でお問い合わせください。
- 「当選」された方は、返信はがきまたは電子メールに記載された期日までに、北生涯学習センターで受講手続きをしてください。受講できるのは当選者ご本人に限ります。
- 辞退される場合は、必ず北生涯学習センターまでご連絡ください。
- 傷害保険等は設定していません。必要な方は各自でご加入ください。
- 受講の手続き後は、原則として受講料・教材費等についてお返しができません。
- 手話通訳・要約筆記等による学習サポートを必要とされる方は、講座・事業実施日の2週間前までにご相談ください。

名古屋電子申請サービス



この講座案内は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

4月25日 (水)

④木・夜間 (17:30~19:00)

【愛知学院大学連携講座】
**くらしの法律・基礎知識
シリーズ3**

暮らしの中で、思いもよらないトラブルや事件に巻き込まれることがあるかもしれません。地域や家庭、職場などのいろいろな場所で生じる紛争を未然に解決するための法的な知識を身に付けましょう。難解な法律の世界をやさしく、分かりやすく解説します。

一般・40人

1,500円

会場までの交通費等は自己負担

1

会社の合併と株主

6
/
28

愛知学院大学法務支援センター教授
服部 育生

2

**働く人のメンタルヘルス不調
に対する法的諸問題**

7
/
5

愛知学院大学法務支援センター教授・弁護士
國田武二郎

3

格差・貧困と憲法

7
/
12

愛知学院大学法務支援センター教授
高橋 洋

4

行政統制と行政手続

7
/
19

愛知学院大学法務支援センター教授
榊原 志俊

5

裁判が行われる意義としくみ

7
/
26

愛知学院大学法務支援センター教授
梅田 豊

愛知学院大学名城公園キャンパス
アガルスタワー